

所管課		産業振興部農林課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第3章 元気創造都市			12 林業			01 安定的な林業経営を支援する										
	事業：林道整備事業											整理番号	0242				
目 的	林業施業や山間地域の生活道としての利便性の向上並びに、車両通行の安全性の向上のため、林道整備を実施する。																
目 標	法面保護、舗装、排水工等の林道改良工事を実施する。																
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		10,847		コスト情報・評価	総コスト(千円)		13,624		総合評価	B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		1,664		内訳	事業費		10,847			効率性		A			
		国府支出金		4,883			人件費		2,777			有効性		B			
		地方債		4,300			公債費		0		林業施設の整備であるが、文化財である岩湧山頂のカヤ場の保全にも貢献することができた。						
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		121								
							世帯あたり(円)		289								
	評価理由																
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	森林施業の基幹となる林道、作業道の整備が進み、車両通行の安全性の向上が図られた。											
今後の方向性	市施行や原材料等支援事業により、林道改良等の整備事業を計画的に進める。																

事業優先順位		1	細事業:林道整備事業					整理番号		03
目的		林業施業や山間地域の生活道としての利便性の向上並びに、車両通行の安全性の向上のため、林道整備を実施する。								
目標		法面保護、舗装、排水工等の林道改良工事を実施する。								
事業実施主体		直営	事業開始年度	昭和47年度以前	根拠法令	森林・林業基本法、森林法				
事業費・財源	事業費内訳	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		平成24年度	比較
		一般財源		10,124	941		事業費		12,108	
		国庫支出金		4,883	1,984		人件費			
		地方債		4,300	0		公債費			
		その他特定財源		0	107		一人あたり(円)			
				0	257		世帯あたり(円)			
				0	0.25		職員数(人)			
				0	0.00		再任用職員数(人)			
今後の方向性		市施行や原材料等支援事業により、林道改良等の整備事業を計画的に進める。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	森林所有者・河内長野市民					
	A	A	B							

事業：林道整備事業

林業振興のために森林の適切な整備を図るとともに、流通コストの削減を図るなど、木材需要を高める生産体制を強化し、林業関係者の収益性を改善するために、森林施業の基盤となる林道の改良工事と小規模な林業用施設の維持補修に必要な材料を支給した。

細事業：林道整備事業

1. 林道整備事業

市内林道の中でも利用頻度が高い林道千石谷線の路面改良（コンクリート路面工※）を実施した。この結果、間伐・造林・保育等の森林施業や木材生産の効率化・コストダウン・安全性の向上が図られると共に、岩湧山頂の文化財保護のための車両の安全・快適な通行を確保することが可能となった。

※コンクリート路面工

…構造的にはコンクリート舗装と同一であり、施工することによって自動車のタイヤの接地面積を増大させ、摩擦係数を高めるとともに、路面侵食を防止する効果がある。原則として、縦断勾配が7%を超える砂利道に適用する。

（単位：円）

工 事 名	工 事 概 要	事 業 費	財 源 内 訳		
			国府補助金	地元分担金	一般財源
林 道 千 石 谷 線 改 良 工 事	1号箇所 施工延長 L=250m コンクリート路面工 排水工	8,478,750	4,883,000	0	4,892,500
	2号箇所 施工延長 L=149m コンクリート路面工 排水工 土留柵工				
林 道 千 石 谷 線 改 良 工 事 （その2）	施工延長 L=52.3m コンクリート路面工 排水工	1,296,750			
合 計		9,775,500	4,883,000	0	4,892,500

林道千石谷線改良工事

道路縦断勾配が7～13%と急勾配の上、車両通行による轍掘れや雨水の流下による路面の洗掘により、通行が困難であった林道をコンクリート舗装することによって、安全で快適な車両の通行を確保することができた。

改良前



改良後

